

# 各種検討会チェックシート

令和5年度版

——— 街に、ルネッサンス ———



## 各種検討会チェックシート

場所	部位	チェック項目	チェック欄
玄関	アルコーブ周り	床仕上げは防滑仕様としているか（エンボス加工等）	
玄関	アルコーブ周り	壁・柱等の躯体出隅部（コーナー）は面取りしているか	
玄関	アルコーブ周り	室名札は戸先側に設置しているか（玄関ドア上端揃え、玄関枠から160mm）	
玄関	アルコーブ周り	インターホンは室名札付近の戸先側に設置しており、床上1,350mmとなっているか。また周囲に新聞受け等がある場合、干渉しないか	
玄関	アルコーブ周り	照明器具の設置位置・高さは、鍵穴が暗くならないような居住者・来訪者への配慮等がされているか。また、スイッチは確認表示灯付となっているか	
玄関	アルコーブ周り	インターホン子機カメラの位置・高さは来訪者が容易に確認でき、また、利用しやすい位置にあるか	
玄関	アルコーブ周り	熱源機排気口と外部廊下照明との位置関係は良いか	
玄関	アルコーブ周り	連動給気シャッターの納まり及び位置は良いか	
玄関	アルコーブ周り	浴室換気ダクトと廊下照明との相互の位置関係は良いか	
玄関	アルコーブ周り	外部給気口位置と熱源機の排気口及び室内排気との離隔は300mm以上とれているか	
玄関	アルコーブ周り	玄関ドアの上部に、浴室換気口が設けられていないか。また、結露水の処理が検討されているか	
玄関	アルコーブ周り	アルコーブ周りが排気だまりになっていないか	
玄関	アルコーブ周り	エアコンの冷媒ルート、スリムダクトの配管施工寸法、冷媒管を含めた配管類の取り外し可能かを意匠上検討されているか	
玄関	アルコーブ周り	室名札の名札部の出し入れは袖壁等と干渉していないか	
玄関	アルコーブ周り	水勾配1/50程度は取れているか（玄関扉側が水上）	
玄関	アルコーブ周り	熱源機の運転音の振動が伝わらないような給湯機の取付け方法になっているか	
玄関	玄関ドア周り	玄関ドア下枠（くつずり）とアルコーブ床との段差は20mm以下になっているか	
玄関	玄関ドア周り	玄関ドアは二次壁に取付けられているか、構面内に取付ける場合は耐震性を有する製品となっているか	
玄関	玄関ドア周り	玄関ドアは何かと干渉していないか	
玄関	玄関ドア周り	玄関ドアは90度以上開くか	
玄関	玄関ドア周り	ドア枠周り（内部）に合成樹脂製見切縁を使用しているか	
玄関	玄関ドア周り	外気に面した壁面には断熱材が貼られ、かつ天井は450mmの範囲で貼られているか	
玄関	玄関ドア周り	ドア戸当りの位置はドアがどこでも干渉しない位置に設置されているか	
玄関	玄関ドア周り	ドアクローザーの堅さはスムーズに開閉できるよう調整されているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
玄関	玄関ドア周り	玄関ドア枠と床の取合い部はシーリングされているか、雨がかりとなっている場合は上枠・建枠にもシーリングが充填されているか	
玄関	床	下駄箱の扉（取手）は何かと干渉していないか	
玄関	床	玄関収納に傘立てを設ける場合は、耐水性・換気に問題はないか	
玄関	床	下階が電気室、給水施設等の場合はトレンチが設けられているか。また、塗膜防水や水抜きとそれに連なる排水設備はあるか	
玄関	床	玄関床から框上端までの寸法が98mm以下となっているか	
玄関	壁	スイッチ（床上1,100mm）・コンセント（床上400mm）・手摺・帽子掛けは相互に干渉する位置に設置していないか（コートをかけた場合も考慮）	
玄関	壁	手摺下地（堅型）の止付けはガタつきがないか	
玄関	壁	巾木は設置されているか	
玄関	壁	手摺が実装ではなく下地の場合、表示はされているか	
玄関	壁	防露壁は断熱材を上下コンクリート面まで密着しているか	
玄関	壁	ケーブルの保護金物は入っているか	
玄関	壁	玄関スイッチは位置表示付となっているか。人感センサーの場合は、適切に点灯する位置に設置しているか	
玄関	天井	梁下高さは2,100mm確保されているか	
玄関	天井	玄関灯は上がり框の真上に設置し、居住者・来訪者の両者の顔が見えやすい等の配慮がされているか	
玄関	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
玄関	天井	ダウンライトの下地補強は天井下地との干渉を避け、有効に設置されているか（片持ち等不安定な止付けとなっていないか）	
廊下	床	原則、廊下と各室入口部に床見切りを設置しているか	
廊下	床	廊下の有効幅は850mm以上となっているか（下地までの場合は930mm以上）	
廊下	床	廊下と各室入口部の段差は3mm以下となっているか	
廊下	床	床下配管に釘打ち込み注意シールが貼ってあるか	
廊下	壁	手摺取付下地は床から600～900mm内外に設置されているか	
廊下	壁	スイッチ（床上1,100mm）・コンセント（床上400mm）は他と干渉していないか、設置する家具、使用する電化製品等を想定し、使い勝手の良い位置に設置されているか	
廊下	壁	各戸盤の位置・高さ・仕様（色・形状等）・収まりは良いか	
廊下	壁	3路・4路スイッチは、居住者の利用シーンを想定して設置されているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
廊下	壁	手摺が実装ではなく下地の場合、表示はされているか	
廊下	壁	各戸盤を納戸等の扉内部に設置する場合、各戸盤はカバー無しとし、表示方法について検討しているか。また、操作・点検等容易に可能か	
廊下	壁	各戸盤の取付方法、補強は良いか	
廊下	壁	各戸盤に最大契約容量の表示がされているか	
廊下	壁	音声警報を発生する電流値は、20A、30A、40A、50A、60A、75A、100Aのうち5点以上が任意設定できるようになっているか	
廊下	壁	各戸盤の過電流警報の設定値は30Aとなっているか	
廊下	壁	1箇所に2個以上のスイッチを取付ける場合、ネーム入りスイッチを使用しているか	
廊下	天井	照明器具の設置位置・高さは良いか	
廊下	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
廊下	天井	ダクトルートとダウンライトの干渉はないか	
廊下	天井	ダウンライトの下地補強は天井下地との干渉を避け、有効に設置されているか（片持ち等不安定な止付けとなっていないか）	
収納	床	収納部の点検口はアルミ枠で450角となっているか	
収納	床	ウォークイン下駄箱の床厚は12mm以上となっているか	
収納	床	物入れ内にさや管ヘッダーを収納する場合は、床置きを標準とし、配管引き抜きが可能な方向へ点検口を配置しているか	
収納	壁	納戸のコンセント位置は収納に支障のない位置としているか、補強材の位置は良いか	
収納	壁	排水縦管の掃除口が居室内の押入れ・物入れ内に設置してある場合、掃除に支障がない位置となっているか	
収納	壁	ハンガーパイプ・固定棚受け材等は確実に固定しているか	
収納	天井	断熱補強の範囲は外壁、梁の内側から900mmの範囲となっているか	
収納	天井	照明器具は上部棚の荷物の出し入れに支障はないか	
収納	扉・建具金物	玄関付近の物入れ扉は玄関マットとの干渉を考慮しているか（扉を床スレスレにしていないか等）	
収納	扉・建具金物	扉には空気抜き、アンダーカットまたはガラリ等を設けているか	
収納	扉・建具金物	片開きドアにはドアストッパーまたはアームストッパーを取付けているか	
収納	扉・建具金物	折れ戸が3枚連続する場合は、中央の1枚の折れ戸端部は片方を固定しているか	
収納	扉・建具金物	折れ戸の把手は高齢者が使用しやすい形状になっているか（つまみ型ではなく一文字型等）	
収納	扉・建具金物	折れ戸は指詰防止加工がされており、指詰防止の注意シールが折曲部の小口に貼っているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
収納	棚板等	奥行きが広い場合（800mm程度）は棚板が二つ割となっているか	
収納	棚板等	奥行きが深いハンガーパイプ設置型クローゼットは、奥に可動棚等の、有効利用がされているか	
収納	棚板等	物入れ最上段の有効幅は450mm確保されているか	
収納	棚板等	ハンガーパイプが1,200mm以上となる場合、中吊が設置されているか	
収納	棚板等	ハンガーパイプの両端は天吊でなく、側止めとしているか	
収納	棚板等	ハンガーパイプと扉（折れ戸）は、離隔（300mm）が取れているか（奥行は600mm内外確保）	
収納	棚板等	棚板の側面はきれいに処理されているか	
便所	床	便所の有効内法寸法は800mm×1,300mm以上とし、便器から前面壁までの寸法は500mm以上確保されているか	
便所	床	床仕上げは、ビニル床シート材となっているか	
便所	床	下階が電気室、給水施設等の場合はトレンチが設けられているか。また、塗膜防水を施工し、水抜きを設置しているか	
便所	床	便器給水管は日々の清掃を容易にするため、原則壁取り出しとなっているか（例外を除き）	
便所	壁	収納スペースは利用しやすい配置や形状等になっているか	
便所	壁	便所の手摺や紙巻器（床から600mm）、コールボタン、コンセント、タオル掛け、便器等は相互に干渉する位置に設置していないか（タオルを掛けた場合も考慮）	
便所	壁	反転タイプのSW・コンセント位置は検討されているか	
便所	壁	遮音壁にコンセント類を設置していないか、止むを得ず設置した場合はボックスの遮音措置をしたか	
便所	壁	コールボタンは機械的自己保持型となっているか	
便所	壁	居室と物入等を介さず隣接する場合は遮音壁を設けているか、遮音壁は天井と床のコンクリートに密着させているか	
便所	壁	吊戸棚等にぐらつきはないか	
便所	壁	PS点検口がある場合、メンテナンスしやすい位置に設置しているか	
便所	天井	照明器具の設置位置・高さは良いか	
便所	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
便所	天井	ダウンライトとダクトの干渉はないか	
便所	天井	ダウンライトの下地補強は有効に設置されているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
便所	天井	便所換気扇副吸込み口が設けられているか、また、吸込み口取付用の下地補強材が設けられているか	
便所	天井	換気扇等のダクトやケーブルがダウンライトに接触しないように支持されているか	
便所	室内出入口	錠前は非常解錠装置付としているか	
便所	室内出入口	扉は外開きもしくは引き戸となっているか	
便所	室内出入口	明かり取りは設置されているか、ない場合は確認表示付スイッチ対応となっているか	
便所	室内出入口	扉のアンダーカット寸法は20～30mmとなっているか	
便所	室内出入口	片開きドア枠のストライクは、出っ張り過ぎていないか	
便所	その他	外壁に面した便所の壁面には断熱材が貼られ、天井断熱材は、900mmの範囲で貼られているか	
便所	その他	便所内横引き排水管露出部の配管は意匠上目立ちすぎてないか、化粧等で目立たない工夫をしているか	
便所	その他	便所の換気風量は20～40m <sup>3</sup> /hが確保されているか、また、急速排気として40m <sup>3</sup> /h以上の運転を行える仕様か	
便所	その他	便器の給水は原則として左壁給水・右レバーとしてあるか。困難な場合は右壁給水、左床給水、右床給水で検討されているか	
便所	その他	大便器の給排水配管が壁を貫通する場合は、壁の貫通穴部分にプレートかワン座カバー設置としてあるか	
便所	その他	陶器に給排水金具類を接続する場合のパッキンは耐食性の確認をしたか	
便所	その他	温水暖房便座の取付けは検討されているか	
洗面・脱衣室	床	下階が電気室、給水施設等の場合はトレンチが設けられているか。また、塗膜防水や水抜きとそれに連なる排水設備はあるか	
洗面・脱衣室	床	洗面所出入口は幅750mm以上確保しているか	
洗面・脱衣室	床	床仕上げは、ビニル床シートとなっているか	
洗面・脱衣室	床	床下点検口は引っ掛かったり、上に乗った際にたわんだりしないか	
洗面・脱衣室	床	床下点検口は浴室ユニットバス排水管継手が確認できる位置に設置しているか（水漏れ時に容易に確認できる位置か）	
洗面・脱衣室	床	床下配管の勾配及び交差配管が最小限の納まりとしているか	
洗面・脱衣室	床	段差スラブにおいて、床配管の支持方法は良いか、配管の交差は段差スラブ内で処理してあるか	
洗面・脱衣室	床	防水パンに注意事項を耐水シールにて表示してあるか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
洗面・脱衣室	床	給湯管は他の管の上越しとなっていないか	
洗面・脱衣室	床	床下配管に釘打ち込み注意シールが貼ってあるか	
洗面・脱衣室	壁	浴室入口横に手摺下地を設置しているか	
洗面・脱衣室	壁	スイッチ、コンセント、タオル掛等は相互に干渉する位置に設置していないか（扉を開いた場合やタオルを掛けた場合も考慮）	
洗面・脱衣室	壁	2方向入口のSWは3路SWとなっているか。反転タイプのSW・コンセント位置は検討されているか	
洗面・脱衣室	壁	暖房用コンセントの位置・高さは良いか（床下中心400mm）	
洗面・脱衣室	壁	化粧台用コンセントの位置・高さは良いか（床下中心1200mm）	
洗面・脱衣室	壁	洗濯機水栓の高さは1,200mm、配管立上りカバーの高さは1,400mm、防水パンは640mm×640mm以上となっているか	
洗面・脱衣室	壁	PS点検口がある場合、メンテナンスしやすい位置か。また、配管が点検口の前を横断していないか	
洗面・脱衣室	壁	化粧台の固定用補強に電気ケーブルが貫通していないか	
洗面・脱衣室	壁	化粧台・鏡固定用の補強材は入っているか	
洗面・脱衣室	天井	外壁面等に面した天井断熱材はスラブ端部から900mmまで施工されているか	
洗面・脱衣室	天井	梁下高さは2,100mm以上確保されているか	
洗面・脱衣室	天井	換気扇・点検口（位置とメンテナンスを考慮した大きさ）・照明器具・ダクトの位置関係及び補強材は良いか。また、配線ジョイントBOX・コンセントは点検口の真上に設置してあるか	
洗面・脱衣室	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
洗面・脱衣室	天井	照明器具の設置位置・高さは良いか、洗濯機置き場が暗がりにならないか	
洗面・脱衣室	天井	ダウンライトの補強は天井下地との干渉を避け、有効に設置されているか	
洗面・脱衣室	天井	点検口に電灯ジャンクション及び換気扇用コンセントのある旨の表示はされているか	
洗面・脱衣室	天井	換気扇等のケーブルがダウンライトに接触しないように支持されているか	
洗面・脱衣室	洗面化粧台	洗面化粧ユニット、鏡、鏡用照明器具の納まりは良いか。また、タオル掛けの位置は検討されたか（洗面化粧台と取り合う左右の壁は、洗面化粧台と10mm程度の離隔になっているか）	
洗面・脱衣室	洗面化粧台	洗面化粧台の仕様と現地の取付寸法、配管の施工方法が確認できているか	
洗面・脱衣室	洗面化粧台	化粧台の鏡は、くもり防止タイプとなっているか	
洗面・脱衣室	洗面化粧台	洗面化粧台廻りの隙間のシーリング処理はされているか	
洗面・脱衣室	洗面化粧台	洗面化粧台の引き出し等は他の部分と干渉しないか	
洗面・脱衣室	洗面化粧台	洗面化粧台の取付けビスはステンレスを使用しているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
洗面・脱衣室	室内出入口	出入口の有効幅員は750mm以上確保されているか	
洗面・脱衣室	室内出入口	扉・壁に、給気用のアンダーカットまたはガラリ等を設けているか	
洗面・脱衣室	室内出入口	引き戸（木製建具）に鍵を取付ける場合は、非常解錠装置付となっているか	
洗面・脱衣室	室内出入口	片引戸の引手の引残しは50mm以上確保されているか	
洗面・脱衣室	その他	窓がある場合、覗き見防止対策が取られているか（目隠しパネルやガラス種別、カーテンレールの設置等）	
洗面・脱衣室	その他	ダクトの斜め吊りはないか	
浴室	浴室ユニット	窓がある場合、覗き見防止対策が取られているか（目隠しパネルやガラス種別、覗き見できない開き具合等）	
浴室	浴室ユニット	浴室入り口ドア下枠と浴室床の段差は20mm以下となっているか	
浴室	浴室ユニット	排水目皿は、ヘアーキャッチャー付きとなっているか	
浴室	浴室ユニット	洗い場の床はガタつきなく設置されているか	
浴室	浴室ユニット	錠前は非常解錠装置付とし、扉は緊急時に外から救出可能な構造となっているか	
浴室	浴室ユニット	ランドリーパイプ用フックは2本あり、ガタつきはないか	
浴室	浴室ユニット	バスコール及び浴室リモコン、手摺等の設置位置は適切か（浴室リモコン：扉横、バスコール・縦手摺：浴槽またぎ部、横手摺：浴槽奥側壁面）	
浴室	浴室ユニット	風呂リモコンと風呂蓋が干渉しないことを確認したか（特に2枚蓋の場合、収納時に風呂リモコンとの干渉が発生する可能性がある）	
浴室	浴室ユニット	コールボタンは機械的自己保持型となっているか	
浴室	浴室ユニット	シャワーフックと水栓、照明器具は同一壁面に設置しているか	
浴室	浴室ユニット	出入口扉に給気のためのガラリ等は設置しているか	
浴室	浴室ユニット	排水管の固定及び勾配は施工計画書通りか	
浴室	浴室ユニット	鏡及び化粧棚等が実装となっている場合、シャワー水栓の位置は検討されているか	
浴室	浴室ユニット	下階が電気室、給水施設等の場合はトレンチが設けられているか。また、塗膜防水を施工し、水抜きを設置しているか	
浴室	壁	外気に面した壁面には断熱材が貼られ、かつ天井は900mm、床450mmの範囲で貼られているか	
浴室	壁	各配管取付け部分の補強は良いか、また、穴あけサイズは確認済みか	
浴室	天井	浴室換気乾燥機の支持金物はステンレス製か	
浴室	天井	換気扇本体と天井材の防湿処理（天井裏に対する）は施工されているか（アルミテープによる隙間塞ぎ）	



場所	部位	チェック項目	チェック欄
キッチン	床	下階が電気室、給水施設等の場合はトレンチが設けられているか。また、塗膜防水や水抜きとそれに連なる排水設備はあるか	
キッチン	床	流し台廻りの配管スペース（流し台奥から手前への配管立ち上がりに必要な幅）は120mm以上確保されているか	
キッチン	床	キッチン作業有効スペースの幅は900mm程度確保されているか	
キッチン	床	床下配管に釘打ち込み注意シールが貼ってあるか	
キッチン	壁	梁下高さは2,100mm以上となっているか	
キッチン	壁	冷蔵庫用コンセントの位置・高さは良いか (床上1,900mm。ただし、冷蔵庫置場が壁等で仕切られていない場合、床上400mmとできる)	
キッチン	壁	ガス台とスイッチ・コンセント等可燃物の離隔は良いか（200mm以上）	
キッチン	壁	2方向入口のSWは3路SWとなっているか	
キッチン	壁	大型機器用コンセントの位置・高さは良いか（床上400mm）	
キッチン	壁	水廻りコンセントの位置は水掛かりにならない位置か	
キッチン	壁	排気に対して扉上部のカット等、給気ルートの確保がされているか、特に給気経路で居間を通過させる場合は足元の冷氣について検討しているか	
キッチン	壁	同一壁面にある給気口、排気口の離隔は確保されているか、特に熱源機器の排気口からの離隔が300mm以上あるか	
キッチン	壁	給湯リモコンの取付け位置は良いか	
キッチン	壁	異種構造（下地）ジョイントはシーリング材を詰めているか	
キッチン	壁	タイル面に設置する配線器具上部の目地詰めがされているか	
キッチン	壁	戸境壁に背中合わせにBOXが重なる時の位置関係は中心から左右または上下になっているか	
キッチン	壁	バンドキャップ等に防火ダンパーを設置する場合は点検・補修・修繕が行えることを確認しているか	
キッチン	カウンター	奥行きは標準350mm程度あるか	
キッチン	カウンター	カウンター出隅部は適切にR加工されているか（動線部分）	
キッチン	天井	コンロ台・吊戸棚扉・照明器具・火報感知器の位置は良いか	
キッチン	天井	照明器具の設置位置・高さは良いか	
キッチン	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
キッチン	天井	排気ダクトの経路は良いか	
キッチン	天井	排気ダクトに防火ダンパーを設置する場合は、点検口を設けてあるか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
キッチン	吊戸棚・レンジフード	カウンターキッチンの吊戸棚に頭等が当たらない様に検討されているか（吊戸棚を通路側から200mm以上引き込める、またはカウンターをL字に廻す、カウンター側面に袖壁を設置する等）	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	吊戸棚の扉は耐震ラッチ付きとなっているか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	棚下灯は居間・食事室から眩しくない様な設え、または眩しくない照明器具となっているか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	吊戸棚の扉や取っ手が壁等に当たらないか。当たる場合、緩衝材等の対策を講じているか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	吊戸棚下端と壁面取合い部分にシーリングをしているか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	吊戸棚設置用吊りボルトの本数は良いか（幅が1,500mm以上の場合3本、450mm超え1,500mm未満の場合2本、450mm以下の場合1本）。また、防露壁に付ける場合、吊りボルトを幅が450mm超えの場合2本、450mm以下の場合1本、追加しているか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	レンジフード用コンセントは点検しやすい位置か	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	レンジフード用コンセントのある旨の表示はされているか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	レンジフード、棚下灯の接地は取ってあるか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	レンジフード用ケーブルとレンジフード本体が接触していないか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	レンジフードのダクト接続のアタッチメントのビス締付けは完全か	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	レンジフードの断熱は端部（接続部）に鉄線2回巻きでハズレ止めとしているか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	レンジフードの排気ダクト及び給気ダクトは、外側に向かって下り勾配になっているか	
キッチン	吊戸棚・レンジフード	レンジフードの本体、部材及び幕板は堅固に取付けているか	
キッチン	シンク	配管用点検口がある場合、メンテナンスが可能なことを確認しているか	
キッチン	シンク	カウンター天板と流し台周囲立上がり部分、およびコンロ台周囲、壁との取り合い部にシーリングをしているか	
キッチン	シンク	ステンレス小口は手を切るような鋭利な状態になっていないか	
キッチン	シンク	流し台扉及び引出しが壁等に当たらないか。当たる場合、緩衝材等の対策を講じているか	
キッチン	シンク	流し水栓の左右の首振り角度は周囲のものと干渉がないことを確認しているか	
キッチン	シンク	流し水栓の取付け補強板の取付方法、寸法は検討されているか	
キッチン	シンク	ディスポーザーの取付け方法、騒音対策は検討されているか	
キッチン	シンク	台所給湯リモコンの設置位置は総合図通りか、将来的に調理器具が配置された場合の干渉を検討しているか	
キッチン	室内出入口・外部窓・出入口	バルコニーに面するアルミドアの錠前はサムターン錠とし、1,2階は補助錠のシリンダー一本締錠を設け二重ロックとしているか	
キッチン	室内出入口・外部窓・出入口	カーテンレールとコンロは干渉していないか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
キッチン	室内出入口・外部窓・出入口	カーテンレールがない場合、扉・窓に透明ガラスを使っていないか	
キッチン	その他	レンジフードの給気経路が居間食事室の床暖房の設置している居室が経路となっており、冷氣について検討しているか	
キッチン	その他	レンジフードの給気経路がパスダクトにて設計している場合、規定風量が出ていることを確認しているか	
キッチン	その他	外気に面した壁・天井・床面には断熱材が450mmの範囲で貼られているか	
居間・食事室	床	下階が電気室、給水施設等の場合はトレンチが設けられているか。また、塗膜防水を施工し、水抜きを設置しているか	
居間・食事室	床	出入口床見切りと床板の段差は3mm以下となっているか	
居間・食事室	床	床暖房の施工範囲が建築図とガス設備図で整合がとれているか	
居間・食事室	床	床鳴りが起こらないか	
居間・食事室	床	敷居、床見切りの取付はガタつきなく、水平、真っすぐになっているか	
居間・食事室	床	床下配管に釘打ち込み注意シールが貼ってあるか	
居間・食事室	壁	エアコンの吹出し風がカーテンボックス等に干渉していないか	
居間・食事室	壁	片開きドアは90度開くことができる様に吊元側の袖壁寸法が確保されているか	
居間・食事室	壁	ハンガー用化粧ボルトがある場合は、取付け位置は良いか（標準形：壁面中央部に1箇所、そこを起点として900mm以下おき、壁面等からは300mm離れ）	
居間・食事室	壁	エアコン用取付けインサート・スリーブ・配管（室内側）・専用コンセントはカーテン溜り等と干渉しないか	
居間・食事室	壁	奥まった部屋（あんどん部屋）にエアコンを設置する場合、冷媒管の配管ルートが確保されているか（必要に応じて配管カバー等の露出防止策が講じられているか）	
居間・食事室	壁	エアコン取付用インサートは天井から150mm以上、壁面等から約400mm離れた範囲に取り付けられているか、かつインサート間の離れは約450mm確保されているか	
居間・食事室	壁	情報盤の取付位置、取付スペースの確保は良いか。また、配管・配線のスペースは確保されているか	
居間・食事室	壁	コンセント・TVコンセント・電話及びLANモジュラージャックの位置関係及び補強材の位置は良いか。また、配管配線スペースは確保されているか。	
居間・食事室	壁	対面キッチンの情報盤・電話モジュラー位置・カウンター奥行き、カウンター面の電話用孔等の条件整理はしたか	
居間・食事室	壁	床暖房用コントローラーの位置、高さは総合図通りか（参考：リモコン芯 床仕上+1,300mm）	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
居間・食事室	壁	床暖房リモコン高さは、操作上床から1,300mmとなっているか	
居間・食事室	壁	エアコンの冷媒ルート、スリムダクトの配管施工寸法、冷媒管を含めた配管類の取り外し可能かを意匠上検討されているか	
居間・食事室	壁	設備機器用スリーブは内部に水返板があるか、各種スリーブと躯体間（外部側）にシーリングがされているか	
居間・食事室	壁	エレベーターシャフトに隣接させていないか（PSや収納、水回り等を介す）	
居間・食事室	壁	異種下地の場合は、その境目に目地をとってクラック防止がされているか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	スリーブキャップはスリーブへしっかりと差し込まれているか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	カーテンレールはカーテン溜まりを確保しているか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	カーテンレールのたわみ・ガタつきはないか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	ダクト配管は逆勾配となっていないか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	外壁面に埋め込むBOXの結露対策はされているか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	戸境壁に背中合わせにBOXが重なる時の位置関係は中心から左右または上下になっているか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	強電ケーブルと弱電ケーブルは接触していないか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	強電ケーブルと弱電ケーブルを同一BOXに納める場合は、セパレーターの取付けがされているか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	ケーブルの保護金物が入っているか	
居間・食事室	壁・サッシ枠・カーテンレール	ケーブルが断熱材・保温材に接触し、許容電流低下に影響を与えていないか	
居間・食事室	天井	天井高が高い場合、照明器具の修繕や交換等の維持管理に配慮した設えとなっているか	
居間・食事室	天井	火報感知器とエアコン吹出口の離隔は1.5m以上とれているか	
居間・食事室	天井	天井照明用BOXにボックススタッドを設けてあるか	
居間・食事室	天井	ダクトの勾配は外部に向けて下がり勾配となっているか	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	接地階及びその直上階のサッシは鍵付クレセントとなっているか	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	出窓・FIX窓等におけるガラス清掃は可能か	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	網戸は危険な場所に設置していない、または落下防止措置が講じられているか（バルコニー等のない窓は落下したら人命にもかかわるため）	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	サッシ等のカーテンレールの取付位置は適切か	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	高さの足りない腰窓の落下防止手摺の高さは、床面から1,200mm以上確保されているか	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	共用部に面して開口部がある場合、覗き見防止対策が取られているか（目隠しパネルやガラス種別、カーテンレールの設置等）	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	サッシの指詰め対策は実施されているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	エアコン室外機と出入口の干渉、冷媒管及びドレイン管が出入口を横断するような配管となっていないか	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	滑り出し窓の開き角度は覗かれない程度になっているか	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	アルミサッシの下部に有効な水抜きが設置しているか	
居間・食事室	アルミサッシ・外部出入口	バルコニーのない引違いアルミサッシ等の障子は、部屋内から取り外しができる様になっているか	
居間・食事室	その他	家具がうまく配置できるプランとなっているか（図面上で無理な家具の配置を想定していないか）	
居間・食事室	その他	外気に面した壁面には断熱材が貼られ、かつ、天井450mm、床450mmの範囲で貼られているか	
居間・食事室	室内出入口	沿岸部や超高層建物で内部ドアや引き戸にガラスを使う場合は、風対策として安全対策を講じているか（大きな面積での使用はしない、樹脂ガラスの使用、常時閉鎖のドアクローザーの使用等）	
居間・食事室	室内出入口	框ドアガラスのガタつきはないか	
居間・食事室	室内出入口	丁番等の金物は面取りしているか	
居間・食事室	室内出入口	建具（欄間、扉等）と物入れ扉等との干渉はないか、人や腕が挟まれない対策が講じられているか、干渉している場合、緩衝材等の対策を講じているか	
居間・食事室	室内出入口	片開きドア枠のストライクは、出っ張り過ぎていないか	
居間・食事室	室内出入口	アウトセットドアは転倒防止対策を講じているか	
居間・食事室	室内出入口	戸当たりの設置位置は適切か、またガタつきはないか	
居間・食事室	その他	高天井の場合のエアコンの熱効率は検討したか、室内機の設置位置は暖房時の気流検討を行い決定しているか	
居間・食事室	その他	居室の24時間常時小風量給気ユニットと扉等の給気口が、居室の対角線上に設けられているか	
居間・食事室	その他	24時間常時小風量給気ユニットのダクトの雨掛かり処理は庇が設けられている場合を除き深型フードを採用しているか、また見え方を意匠設計者に確認しているか	
居間・食事室	その他	24時間常時小風量給気ユニットのダクトは室内より先下り勾配となっているか	
居間・食事室	その他	24時間常時小風量給気ユニットのダクトの断熱は仕上まで適切に施工されているか	
居間・食事室	その他	24時間常時小風量給気ユニットのユニットビス止め用の補強板は適切か	
洋室	床	下階が電気室、給水施設等の場合はトレンチが設けられているか。また、塗膜防水や水抜きとそれに連なる排水設備はあるか	
洋室	床	出入口床見切りと床板の段差は3mm以下となっているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
洋室	床	床鳴りが起こらないか	
洋室	壁	エアコンの吹出し風がカーテンボックス等に干渉していないか	
洋室	壁	片開きドアは90度開くことができる様に吊元側の袖壁寸法が確保されているか	
洋室	壁	エアコン用取付けインサート・スリーブ・配管（室内側）・専用コンセントはカーテン溜り等と干渉しないか	
洋室	壁	コンセント・TVコンセント・電話及びLANモジュラージャックの位置関係及び補強材の位置は良いか	
洋室	壁	奥まった部屋（あんどん部屋）にエアコンを設置する場合、冷媒管の配管ルートが確保されているか（必要に応じて配管カバー等の露出防止策が講じられているか）	
洋室	壁	エアコン取付用インサートは天井から150mm以上、壁面等から400mm離れた範囲に取り付けられているか、かつインサート間の離れは450mmか	
洋室	壁	個室のエアコン用コンセントは専用回路になっているか	
洋室	壁	設備機器用スリーブは内部に水返板があるか、各種スリーブと躯体間（外部側）にシーリングがされているか	
洋室	壁	異種下地の場合は、その境目に目地をとってクラック防止がされているか	
洋室	壁	ハンガー用化粧ボルトの取付け位置は良いか（標準形：壁面中央部に1箇所、そこを起点として900mm以下おき、壁面等からは300mm離れ）	
洋室	壁	エレベーターシャフトに隣接させていないか（PSや収納、水回り等を介す）	
洋室	壁	室内側のスリーブキャップはスリーブへしっかりと差し込まれているか	
洋室	壁・サッシ枠・カーテンレール	カーテンレールのたわみ・ガタつきはないか	
洋室	壁・サッシ枠・カーテンレール	ダクト配管は逆勾配となっていないか	
洋室	壁・サッシ枠・カーテンレール	外壁面に埋め込むBOXの結露対策はされているか	
洋室	壁・サッシ枠・カーテンレール	戸境壁に背中合わせにBOXが重なる時の位置関係は中心から左右または上下になっているか	
洋室	壁・サッシ枠・カーテンレール	強電ケーブルと弱電ケーブルは接触していないか	
洋室	壁・サッシ枠・カーテンレール	強電ケーブルと弱電ケーブルを同一BOXに収める場合はセパレータの取付けがされているか	
洋室	壁・サッシ枠・カーテンレール	ケーブルが断熱材・保温材に接触し、許容電流低下に影響を与えていないか	
洋室	壁・サッシ枠・カーテンレール	ケーブルの保護金物は入っているか	
洋室	天井	天井高が高い場合は照明器具高天井用延長吊り具等を考慮しているか	
洋室	天井	可動間仕切り等で2室以上になる場合の火報感知器の配置は考慮してあるか	
洋室	天井	火報感知器とエアコン吹出口の離隔は1.5m以上とれているか	
洋室	天井	天井照明用BOXにボックススタッドを設けてあるか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
洋室	天井	ダクトの勾配は外部に向けて取られているか	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	接地階及びその直上階のサッシは鍵付クレセントとなっているか	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	出窓・FIX窓等におけるガラス清掃は可能か	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	網戸は危険な場所に設置していないか（バルコニー等のない窓は落下したら人命にもかかわるため）	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	ハイサッシ等の特殊形状な場合、カーテンの取付位置は適切か。また、使用性は問題ないか	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	高さの足りない腰窓の落下防止手摺の高さは、床面から1,200mm以上確保されているか	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	サッシの指詰め対策は実施されているか	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	エアコン室外機と出入口の干渉、冷媒管及びドレイン管が、出入口を横断するような配管はないか	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	滑り出し窓の開き角度は覗かれない程度になっているか	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	アルミサッシの下部に有効な水抜きが設置しているか	
洋室	アルミサッシ・外部出入口	バルコニーのない引違いアルミサッシ等の障子は、部屋内から取り外しができる様になっているか	
洋室	室内出入口	建具のアンダーカットは15mm確保されているか	
洋室	室内出入口	建具と物入れ扉等との干渉はないか、干渉している場合、緩衝材等の対策を講じているか	
洋室	室内出入口	開き戸の場合、24時間給気ルートは確保されているか（ランマや窓、ガラの設置等）	
洋室	室内出入口	片開きドア枠のストライクは、出っ張り過ぎていないか	
洋室	室内出入口	片引戸の引手の引残しは50mm以上確保されているか、また、戸当たりゴムは設置されているか	
洋室	室内出入口	出入口扉には、床付け戸当りまたはレバーストッパー、上枠付き戸当たり等が設置されているか	
洋室	その他	外気に面した壁面には断熱材が貼られ、かつ天井断熱材は通常450mm、収納上部900mmの範囲、床断熱材は450mmの範囲貼られているか	
洋室	その他	廊下側個室の出窓下のエアコン室外機置場の有効高さは700mm以上、奥行き350mm以上が確保されているか	
洋室	その他	廊下側個室の出窓下部に室外機想定の場合、排水ルートは設置されているか	
洋室	その他	24時間給気ユニットとカーテンレールとの干渉はないか	
洋室	その他	24時間給気ユニットのダクトの雨掛かり処理は庇が設けられている場合を除き深型フードを採用しているか、また、見え方を意匠設計者に確認しているか	
洋室	その他	24時間給気ユニットのダクトの断熱は仕上まで適切に施工されているか	

場所		部位	チェック項目	チェック欄
洋室	その他		24時間給気ユニットが共用廊下に面している場合、騒音対策は適切か	
洋室	その他		24時間給気ユニットは防音サッシの場合、フードの騒音対策は適切か	
洋室	その他		24時間給気ユニットのダクトは室内より先下り勾配となっているか	
洋室	その他		24時間給気ユニットのユニットビス止め用の補強板は適切か	
バルコニー	床		室外機（床置きH≦650mm）は、足掛かりとならない位置（手摺際はNG）かつ室内からの眺望等を阻害していないか	
バルコニー	床		エアコンのドレイン排水が適切にされるようドレインレール等が設置されているか	
バルコニー	床		床は塗膜防水されているか	
バルコニー	床		ドレインの位置は滞水を防ぐ位置となっているか（凹凸のあるバルコニーの場合、凸の部分にドレインを設置する）	
バルコニー	床		避難通路の有効寸法（最低600mm）は確保されているか（室外機や物干金物との取合いに注意）	
バルコニー	床		妻側バルコニーへ設置する避難ハッチの設置位置は、妻側手摺壁から500mm以上離隔かつ上下階の空き間隔は600mm以上確保されているか	
バルコニー	床		避難ハッチ面は、床仕上げ面からレベルを上げて納めているか	
バルコニー	床		避難器具廻りのシーリング処理はされているか	
バルコニー	床		排水溝までの水勾配はとれているか	
バルコニー	壁・手摺他		コンクリート手摺は4m以内に誘発目地もしくはスリットを設けているか	
バルコニー	壁・手摺他		手摺コーナー部に支柱を立てていないか	
バルコニー	壁・手摺他		手摺子の間隔は内法で110mm以下、また、手摺の下弦材と躯体との間隔は90mm以下となっているか	
バルコニー	壁・手摺他		壁付物干金物の最下段の穴（足のかかる部分）の高さは、たたんだ時を含め床から足掛りの高さ650mm以上となっているか	
バルコニー	壁・手摺他		手摺の高さは床面（水上）から1,200mm以上となっているか	
バルコニー	壁・手摺他		セットバック屋上へ接している箇所は侵入防止の対策がされているか	
バルコニー	壁・手摺他		避難口（避難ハッチ）がある場合、避難はしごと物干金物、室外機、照明器具、壁掛け給湯器等との干渉はないか	
バルコニー	壁・手摺他		物干金物・室外機・照明器具・壁掛け給湯器等と排気の干渉等はないか	
バルコニー	壁・手摺他		スリーブとエアコン室外機は干渉していないか	
バルコニー	壁・手摺他		縦樋は開口部、壁貫通スリーブと干渉していないか	



場所	部位	チェック項目	チェック欄
バルコニー	壁・手摺他	海岸近くや高層部のコーナー部等で風切り音の発生しやすい手摺を使用していないか（摺子の間隔100mm以下、パンチングの穴径φ5～15mmの場合は風切り音が発生しやすい）	
バルコニー	壁・手摺他	コンクリート手摺壁で囲われている等、水が自然と抜けない箇所は、ドレインに加えオーバーフロー管を設置しているか	
バルコニー	壁・手摺他	金属製手摺はガタつきがないか	
バルコニー	壁・手摺他	防水コンセントの位置は室外機、竪樋等の陰になっていないか。また、地区音響装置等の設置位置は隣住戸からの修繕等の捕手が可能か	
バルコニー	壁・手摺他	24時間給気ユニットのバンドキャップは庇が設けられている場合を除き深型フードを採用しているか、また、見え方を意匠設計者に確認しているか	
バルコニー	壁・手摺他	外部給気口位置と熱源機の排気口及び室内排気との離隔は300mm以上とれているか	
バルコニー	壁・手摺他	原則、台所用フードの排気方向に洗濯物・給湯器・エアコン・雨樋・隣戸等がないか。また、吹き溜まりに排気されていないか	
バルコニー	壁・手摺他	給排気口同士の隣接住戸間の距離は900mm以上の離隔は確保されているか	
バルコニー	壁・手摺他	金属製手摺の支柱周りはシーリング（三角シールは不可）されているか	
バルコニー	壁・手摺他	コンクリート手摺の笠木は、水上と水下で30mm以上高低差が確保されているか	
バルコニー	壁・手摺他	躯体スリットとトップレールの継ぎ手位置が一致しているか	
バルコニー	壁・手摺他	外部側のスリーブは、スリーブの廻りにシールをしているか	
バルコニー	壁・手摺他	樋持ち滑り止めの取付は良いか	
バルコニー	壁・手摺他	竪樋の排水距離は6mとなっているか（竪樋間は12m以内となっているか）	
バルコニー	壁・手摺他	1階住戸のバルコニーに透明素材を使用していないか（プライバシー確保のため）	
バルコニー	壁・手摺他	隔て板はガタついていないか	
バルコニー	壁・手摺他	壁掛給湯器の場合、躯体と配管の取合い部にシーリングはされているか	
バルコニー	壁・手摺他	壁掛給湯器の排気方向に可燃物はないか。また、点検作業スペースは確保されているか	
バルコニー	壁・手摺他	給湯機ドレインの伸縮アダプターは適切な位置に取付けられているか	
バルコニー	天井	バルコニー天井に水切りを設置しているか	
バルコニー	花台・室外機置場	排水ドレインの清掃が容易にできるか	
バルコニー	花台・室外機置場	容易に室外機を設置できる様になっているか	
バルコニー	花台・室外機置場	室外機の前方に熱交換に必要な空間が確保されているか	
専用庭	床	ウッドデッキ設置の場合天然木仕様となっていないか	
専用庭	床	照明器具の設置は検討されたか	
専用庭	床	散水栓はバキュームブレーカー付の水栓となっているか、箱内の水抜きはあるか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
専用庭	壁	専用庭の手摺戸は施錠できるようになっているか	
専用庭	壁	隣戸・外部からの区画はされているか	
専用庭	壁	物干金物を専用庭部分に設置していないか（原則、物干金物はバルコニー・テラス内に設置する）	
専用庭	壁	防水コンセントの位置は、室外機・竖樋等の陰になっていないか	
専用庭	天井	上階が5層を超える場合、出入口上部に落下物防止庇は設置しているか	
外廊下	床	外廊下の有効幅員は補助手摺を設置しない状態で1,300mm以上、設置した状態でも1,200mm以上は確保されているか	
外廊下	床	共用廊下側にエアコン室外機を設置する場合、ドレインレール等の排水対策は確保されているか、また、適切な排水勾配は確保されているか	
外廊下	床	外廊下共用部の排水が専用バルコニーに流れ込んでいないか	
外廊下	床	排水溝の排水距離は、6m以内とされているか（竖樋同士の間隔は12m以内）	
外廊下	床	排水溝は塗膜防水されているか、仕上見切の位置及び水上+40mmまで立上げているか	
外廊下	床	歩行部分にフロアドレインがある場合は上部蓋を設けるか角型ドレインとしてつまずかない仕様になっているか	
外廊下	床	排水ドレインが手摺より外側にある場合、ドレインの清掃に配慮した開口等は設置されているか	
外廊下	床	エキスパンションジョイント金物周りは、段差及び滑り止め対策は施されているか	
外廊下	床	エキスパンションジョイント部の端部は立ち上がりを設け、雨だれに配慮しているか	
外廊下	床	ビニル床シート（エンボス（浮き出し）加工）等滑りにくい仕様となっているか	
外廊下	壁・手摺	補助手摺の天端高さは床水下より900mm、水平位置は躯体面より80mmの位置となっているか	
外廊下	壁・手摺	屋上、専用バルコニー、庇等へは手摺等を乗り越えて侵入できない設え（1,500mm以上の距離、小庇等（200mm未満）、壁・スクリーンの設置等）としているか	
外廊下	壁・手摺	手摺部分に足掛りとなるものはないか（手摺の下弦材、消火器ボックス、フットライト、室外機等）	
外廊下	壁・手摺	コンクリート手摺は打放し仕上げ4m以内、タイル張2m以内に誘発目地もしくはスリットを設けているか	
外廊下	壁・手摺	手摺の金属製笠木は、住戸単位毎（6m程度）に分節され、支柱はコーナー部を避け、躯体に埋め込まれていないか	
外廊下	壁・手摺	手摺子の間隔は内法で110mm以下、手摺の下弦材・手摺格子と躯体との間隔は90mm以下となっているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
外廊下	壁・手摺	手摺の高さは床面（水上）から1,200mm以上となっているか	
外廊下	壁・手摺	非常警報装置の位置は操作上支障となる障害物がなく、雨水の吹込みを考慮しているか	
外廊下	壁・手摺・面格子	消火器の設置位置・高さは消防と協議済みか	
外廊下	壁・手摺・面格子	連結送水管BOXが壁面埋め込みの場合、BOXの前面が壁面より下がっており、水を切れる納まりとなっているか	
外廊下	壁・手摺・面格子	24時間給気ユニットのベンドキャップ、パイプフードが通行人と干渉する位置に取付けられているか	
外廊下	壁・手摺・面格子	台所レンジフードの換気が吹き溜まりになる部分に排気されていないか	
外廊下	壁・手摺・面格子	縦樋の支持金物は足掛りの高さ（650mm以内）に取付けていないか、金物は角の面取りがされているか、また、滑り止めの取付は樋持金物の1つおきとなっているか	
外廊下	壁・手摺・面格子	通行に支障のある危険な突出がないか	
外廊下	壁・手摺・面格子	金属製手摺の支柱周りはシーリング（三角シールは不可）されているか	
外廊下	壁・手摺・面格子	コンクリート製手摺のスリットとトップレールの継ぎ手位置が一致しているか	
外廊下	壁・手摺・面格子	コンクリート手摺の天端は、水上と水下で30mmの高低差が確保されているか	
外廊下	壁・手摺・面格子	面格子の間隔は良いか（縦格子@150mm程度・組格子@200mm程度）	
外廊下	壁・手摺・面格子	消火栓箱、放水箱が建物と取り合う部分は、箱の底部を除き、三方シーリングを実施し雨水が入らない処置をしているか	
外廊下	天井	屋上マンホールの昇り口は生活動線に配慮した位置となっているか	
外廊下	天井	照明器具の位置は玄関鍵穴の見える位置か。また、排気口と器具の間に、適切な離隔が確保されているか	
外廊下	天井	照明器具の設置位置・高さは良いか	
外廊下	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
外廊下	天井	誘導灯の設置位置は良いか、振れ止めの処理はしているか。また、防滴仕様等の必要性は検討されているか	
外廊下	MB・PS・EPS	ブースターコンセントは抜け止めになっているか。また、モニター等の保守用に1口の予備はあるか	
外廊下	MB・PS・EPS	排気トップの位置や向きは、給気口の位置と合わせて検討しているか	
外廊下	MB・PS・EPS	高効率給湯機用ドレイン管の伸縮対策は検討されているか（VP）	
外廊下	MB・PS・EPS	高効率給湯機用ドレイン管の臭気対策は検討されているか	
外廊下	MB・PS・EPS	強電・弱電ケーブルの支持方法は良いか。また、強電・弱電ケーブルの離隔・絶縁は良いか	
外廊下	MB・PS・EPS	ブースターにいたずら防止カバーは設置してあるか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
外廊下	MB・PS・EPS	EPS内ケーブルの支持は良いか	
外廊下	MB・PS・EPS	自家用・一般用が同一シャフトに納まる場合の表示はされているか	
外廊下	MB・PS・EPS	中継器の位置は良いか、また、結露対策は考慮しているか	
外廊下	MB・PS・EPS	中継器プレートに部屋番号、感知器個数の表示はされているか	
外廊下	MB・PS・EPS	空配管の呼び線に線名札の取付けはされているか	
外廊下	MB・PS・EPS	電力量計取付架台の防錆処理及び取付状態は良いか	
外廊下	MB・PS・EPS	諸機器のある旨の表示はしてあるか	
外廊下	MB・PS・EPS	CATV事業者の責任分界点の機器の設置場所が、レベル測定等の試験が可能な場所であるか。また、測定用端子はあるか	
外廊下	MB・PS・EPS	PS給排水管のスラブ貫通部の納まり、支持・固定が設けられているか	
外廊下	MB・PS・EPS	最下階の給水管及びバルブに系統表示がしてあるか	
外廊下	MB・PS・EPS	最上階の吸排気弁の位置は更新や修繕が可能か	
外廊下	MB・PS・EPS	MBが2戸で共用されている場合、水道メーター1次側のバルブに住戸番号表示があるか	
住棟エントランス	床	団地内通路から各住戸まで、スロープやEV等を計画することで、バリアフリーとしているか	
住棟エントランス	床	スロープを設置している場合、少なくとも、片側に高さ700～900mmの手摺を設置しているか	
住棟エントランス	床	床仕上げは防滑仕様となっているか（タイルの場合、無釉タイルやノンスリッパイルの使用）	
住棟エントランス	床	エントランス出入口等雨水の侵入が考えられる箇所は排水対策を講じているか（グレーチングの設置等）	
住棟エントランス	床	水勾配は建物外部・グレーチング等に向かってとれているか	
住棟エントランス	壁・その他	玄関ホールの風の通り抜け、降雨の吹込みを防止する対策は講じているか（風除室や風の通り抜けを防止する防風スクリーン等の設置、横引き扉等）	
住棟エントランス	壁・その他	エントランスホールの大型ガラス使用時の安全対策は講じているか（大型ガラスの使用を最小限にとどめているか、衝突防止シールの添付、割れ防止のための車輪止めの設置等）	
住棟エントランス	壁・その他	自動ドアを設置する場合、引き戸による巻き込み防止対策として防護柵が設置されているか	
住棟エントランス	壁・その他	オートロックを採用している住宅で外部から容易に侵入できる箇所はないか	
住棟エントランス	壁・その他	掲示板位置は雨掛かりとなっていないか、居住者が日常的に見やすい位置に設置しているか	
住棟エントランス	壁・その他	集合郵便受箱は雨掛かりとなっていないか、居住者が日常的に使用しやすい位置に設置しているか	
住棟エントランス	壁・その他	オートロック扉は誤作動防止処置機能が備わっているか（扉召し合せ及び下の隙間から紙等を差し込み、センサーを誤作動させることを防止する機能等）	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
住棟エントランス	壁・その他	火報受信盤・非常用電源・警報盤・エレベーターインターホン盤の位置は良いか	
住棟エントランス	壁・その他	エアコンが設置されている場合、リモコンの位置は、誰でも触れる位置に取付けされていないか	
住棟エントランス	壁・その他	集合玄関機がカメラ付の場合、訪問者の顔がはっきり映るか	
住棟エントランス	壁・その他	閉鎖型エントランスには空調及び換気設備の検討がされているか	
住棟エントランス	壁・その他	壁・柱等の躯体出隅部（コーナー）は面取りしているか	
住棟エントランス	壁・その他	通行に支障のある危険な突出がないか	
住棟エントランス	壁・その他	集合郵便受箱裏の結露防止対策が取られているか（通気孔の設置等）	
住棟エントランス	壁・その他	排煙窓と出入口の扉等が干渉していないか	
住棟エントランス	壁・その他	火報受信盤にいたずら防止カバーの取付けがされているか	
住棟エントランス	天井	上階が5層を超える場合、1階住戸の専用路、テラス、及び出入口上部に落下物防止庇を設置しているか	
住棟エントランス	天井	大庇や落下防止庇から住戸専用部へ侵入できないようになっているか	
住棟エントランス	天井	照明器具の設置位置・高さ・保守性は考慮されているか	
住棟エントランス	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
住棟エントランス	天井	暗がり部分の点滅方式の検討はされたか	
住棟エントランス	天井	非常用照明器具の設置位置は良いか	
住棟エントランス	天井	監視カメラの位置は良いか。逆光で画像が見にくくなってないか	
住棟エントランス	天井	照明機器の点灯方法の検討はしたか（24時間点灯、深夜消灯、残置の区分等）	
住棟エントランス	天井	集合郵便受けや掲示板の見やすい位置に照明位置が配置されているか	
住棟エントランス	天井	パイプ吊りの器具は振れ止めが施してあるか	
住棟エントランス	天井	建築化照明（間接照明）の場合、ランプが直接見ることができない位置に設置されているか。また、反射による映りこみがないか。納まり寸法を確認しているか	
EVホール	床	一辺が1,500mmの正方形の空間確保が出来ているか	
EVホール	床	ホール出入口廻りに段差はないか	
EVホール	床	エレベーター前のグレーチングのスリット巾はハイヒールのかかとが落ちない寸法（@13mm程度）か、取付けナット部のステンレスキャップは設置しているか	
EVホール	床	エレベーター前のグレーチングは、表面滑り止め付きのノンスリップタイプとなっているか	
EVホール	床	シャフトへの雨水侵入を遮るように排水溝が設置されているか、塗膜防水が施されているか	
EVホール	床	濡れて滑らない材料となっているか（タイルの場合、無釉タイルやノンスリップタイプか、長尺シートの場合、エンボス等が入っているか）	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
EVホール	床	エレベーターシャフト側を水上とした水勾配は取れているか	
EVホール	壁	防風雨対策を検討したか（防風スクリーン等）	
EVホール	壁	清掃が容易にできない箇所へははめ殺し窓を設置していないか（設置する場合、汚れが目立たない仕様（型ガラス等）になっているか）	
EVホール	壁	コンセントは鍵付となっているか	
EVホール	壁	エレベーターインターホンの位置・高さは検討されているか（参考：かご内：床上+1,400mm 乗場：床上+1,205mm）	
EVホール	壁	エレベーターの故障連絡表示板は、利用者の見やすい位置に設けられているか	
EVホール	壁	エレベーターのインジケータを含む各種使用説明プレートが昼も夜も適切に見えるか	
EVホール	天井	照明器具の設置位置・高さは良いか	
EVホール	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
EVホール	天井	非常用照明器具の設置位置は良いか	
EVホール	天井	監視カメラの位置は良いか。また、照明器具による逆光等による画像の欠如等はないか	
EVホール	天井	防風スクリーンの上部躯体への取付けボルト位置は水切り目地を避けているか	
EVホール	天井	避難誘導灯の設置場所は良いか、振れ止めの処理はしてあるか	
EVホール	その他	エレベーターホールの各階の階数表示がエレベーターから確認できる位置に取付けられているか	
EVホール	その他	消火器が通路上の通行に干渉しない位置に設けられているか	
施設部	その他	住宅の雨水排水は施設専用部の中を通してないか、住宅部と施設部の間にはトレンチピットを設けているか	
屋外階段	床	屋外階段に隣接してエントランスホールが計画されている場合は、屋外階段の排水がホールに流れ込まないように計画されているか（排水経路がしっかりと屋外に繋がっているか）	
屋外階段	床	ノンスリップの中は40mm内外、材質はステンレス製となっているか	
屋外階段	床	排水溝は巾木まで塗膜防水されているか	
屋外階段	床	排水溝を設け、1階の末端でドレイン等に流れるようになっているか（階段部で垂れ流しとなっていないか）	
屋外階段	床	踊り場床の水勾配は排水溝に向かってとられているか（1/50）	
屋外階段	壁	手摺を乗り越えて、屋上・バルコニーへ行けない仕様になっているか（離隔距離1,500mm以上、もしくは壁・スクリーン等の設置）	
屋外階段	壁	階数表示板は見やすい位置に設置しているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
屋外階段	壁	手摺子の間隔は内法で110mm以下、手摺の下弦材・手摺格子と躯体との間隔は90mm以下となっているか	
屋外階段	壁	補助手摺の端部は、階段の昇降時に障害とならないように壁側または、下方に曲げてあるか	
屋外階段	壁	コンクリート手摺は打放し仕上げ4m以内、タイル張2m以内に誘発目地もしくはスリットを設けているか	
屋外階段	壁	手摺の高さは800mmとなっているか（最上階は900mm、防省緊は750mm）	
屋外階段	天井	出入口上部に落下防止庇はあるか	
屋外階段	天井	照明器具の設置位置、高さは良いか	
屋外階段	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
屋外階段	天井	照明機器の点灯方法の検討はしたか	
屋外階段	その他	最下層の踊り場が外部歩行者等に対して衝突の恐れのある高さになっている場合、階段下への侵入防止対策が施されているか（植栽を設ける等）	
屋内階段	床	排水溝を設け、1階の末端でドレイン等に流れるようになっているか（階段部で垂れ流しとされていないか）	
屋内階段	床	ノンスリップの中は40mm内外、材質はステンレス製となっているか	
屋内階段	壁	手摺の高さは800mmとなっているか（最上階は900mm、防省緊は750mm）	
屋内階段	壁	補助手摺の端部は、階段の昇降時に障害とならないように壁側または、下方に曲げてあるか	
屋内階段	壁	階数表示板は見やすい位置に設置しているか	
屋内階段	壁	梁型、壁付き照明器具がある場合、鳩対策の検討をしたか	
屋内階段	壁	見え掛かり部のプルボックスの仕様・材質を踏まえては適切に施工されているか	
屋内階段	天井	照明器具の設置位置、高さは良いか	
屋内階段	天井	照明器具の選定（lm数、保守性、色温度、形状、仕様等）は良いか	
屋内階段	天井	照明機器の点灯方法の検討はしたか（人感センサー等）	
屋内階段	天井	パイプ吊りの器具は、振れ止めがあるか	
陸屋根	屋上	屋根・庇のメンテナンスに行くルートが、住宅等の専用部を通過しないで保守管理できるようになっているか	
陸屋根	屋上	通気開放位置は、直近住宅の出入口・窓等の開口部上端との離隔が垂直距離600mm以上、または水平に3m以上離れを取っているか。また、通気開放部は直近住宅からの死角に入るよう考慮しているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
陸屋根	屋上	屋上への出入口経路は安全に出入りできる経路となっているか、マンホールの位置は何かと干渉していないか	
陸屋根	屋上	手摺子の間隔は、内法で110mm以下、手摺の下弦材と躯体との間隔は90mm以下となっているか	
陸屋根	屋上	屋上出入口、テラス、マンホール、設備架台等の立上りはアゴ下まで300mm以上となっているか	
陸屋根	屋上	避雷針の位置・支持・固定状態は良いか。また、長さを極力抑える検討はしたか	
陸屋根	屋上	避雷針導線との離隔は十分か。1.5m以内の金属物に接地は施してあるか。また、配線ルート等検討されているか	
陸屋根	屋上	セットバック住戸に対する、排水通気の開放位置は臭気の影響が検討されているか	
陸屋根	屋上	大屋根の雨水排水は、ルーフバルコニーを介さずに排水しているか（ルーフバルコニーへ垂れ流さない）	
陸屋根	屋上	消火用補給水槽の屋上放水口の位置は排水の検討がされているか	
陸屋根	屋上	消火用補給水槽の中蓋、外蓋に風等での外れ防止のチェーンはついているか	
陸屋根	屋上	消火用補給水槽は高さに限らず保守用のタラップがついているか	
陸屋根	屋上	消火用補給水槽は保守管理上問題なく安全な場所に設置してあるか	
陸屋根	屋上	パラペット等の立上り顎部は水切りが設置されているか	
陸屋根	屋上	パラペット、マンホール、通気管等の周囲緩衝材、入隅み部の押え金物・シーリングは設置しているか	
陸屋根	屋上	伸縮目地は@2,000mm内外、防水立上り面または排水溝から500mmの箇所に設置されているか	
陸屋根	屋上	伸縮目地は断熱材まで達しているか	
陸屋根	屋上	水勾配は躯体でつけているか（1/50）	
陸屋根	屋上	伸頂通気管がオフセット配管またはヘッダー方式の場合外壁より2m部分に限らず、防露が計画されているか	
陸屋根	屋上	防水継手と通気継手のボルト締付け部分のシーリング施工は実施しているか	
陸屋根	屋上	屋上通気管の横引管において2系統合流通気管の伸縮対策が検討されているか	
陸屋根	屋上緑化	EVシャフト・消火水槽・設備架台廻りの作業スペース及び周囲点検スペース（1,200mm以上）は確保されているか	
陸屋根	屋上緑化	パラペット防水立上り部並びにルーフドレイン廻りに直接客土が接していないか	
陸屋根	屋上緑化	ルーフドレイン廻りは目視点検・清掃が容易に行える構造となっているか	



場所	部位	チェック項目	チェック欄
陸屋根	屋上緑化	ルーフドレインは泥水等による雨水処理性能の悪化に対応する為、大型のものを使用しているか(125φ)	
陸屋根	屋上緑化	ルーフドレインにはステンレス(平織り金網メッシュ)防塵網が設けているか	
陸屋根	屋上緑化	屋根マンホールは大型マンホールになっているか	
陸屋根	屋上緑化	防水押えコンクリートの伸縮目地と植栽コンクリートブロック(見切材)の伸縮目地位置を合わせているか	
陸屋根	屋上緑化	作業用フックは設備基礎等に取り付けられているか(パラペットへの取り付けは不可)	
陸屋根	屋上緑化	屋上緑化が計画されている場合、通気管の屋上立上方法が検討されているか	
勾配屋根	勾配屋根	避雷導線との離隔は十分か。また、1.5m以内の金属物に接地は取っているか	
勾配屋根	勾配屋根	避雷導線の支持材の貼付けは十分か	
勾配屋根	勾配屋根	伸頂通気管がオフセット配管またはヘッダー方式の場合外壁より2m部分に限らず、防露が計画されているか	
外壁	外壁	外壁の伸縮目地は4,000mm以内間隔に設置されているか	
外壁	外壁	パラペット水切目地まで目地をのぼしているか	
外壁	外壁	エントランス入口等の大庇にオーバーフロー管を設置しているか、設置位置は、ドレインの反対側としているか	
外壁	外壁	自動点滅器の位置は北または東側となっているか	
外壁	外壁	ブラケット型器具の防水(タイル目地、機器周辺のシール等)及び水抜き穴は良いか	
外壁	外壁	器具のジョイント処理(自己融着テープ巻の上、ビニルテープ巻)は良いか	
外壁	外壁	接地埋設標を取付けてあるか。また、接地極埋設位置・離隔等検討されているか	
外壁	外壁	雨掛かりとなる箇所の換気口やスリーブ廻りの外部側はシーリング処理してあるか、また、シールの打ち替えが可能な位置に計画しているか	
外壁	給水管	給水管ルートの直上に植栽等が計画されていないか(給水管に植栽の根が絡み、植栽の撤去が困難になるため)	
外壁	資機材	取替が必要な資機材について、バルコニーのない外壁等の足場が必要な位置に計画されていないか。	
EV機械室・昇降路	床	ピット内に塗膜防水を施しているか	
EV機械室・昇降路	壁	昇降路が住戸に隣接していないか(PS、物入れ、水廻り等を介す)。また、壁厚さは200mmを確保しているか	
EV機械室・昇降路	壁	機械室の換気扇・給気位置はエアフローと風量及び開口サイズの検討がされているか、給気元と排気先で臭気は問題ないか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
EV機械室・昇降路	壁	制御盤の位置は暴風時の雨水吹込み対策としてガラリから十分離隔が取れているか	
EV機械室・昇降路	天井	照明器具の仕様は良いか（保守性、非常照明等）	
EV機械室・昇降路	天井	煙感知器の点検は安全かつ容易に行えるか	
EV機械室・昇降路	その他	昇降路屋根には、排水ドレインのほかオーバーフロー管を設置しているか	
受水槽・ポンプ室	床	漏水時の緊急排水のために、床排水口の検討がされているか	
受水槽・ポンプ室	床	ポンプドレインの排水方法が検討されているか、ポンプ基礎に水溜り防止のスリットが設けられているか	
受水槽・ポンプ室	床	配管固定用支持位置がメンテナンススペースと干渉していないか	
受水槽・ポンプ室	壁	換気扇・給気口の消音対策はされているか	
受水槽・ポンプ室	壁	受水槽の通気フードは錆びない材料となっているか	
受水槽・ポンプ室	壁	受水槽の通気管の屋外開放部の位置はいたずら防止対策がされているか。また、開放位置は適切か	
受水槽・ポンプ室	壁	受水槽室の換気扇・給気位置はエアフローと風量及び開口サイズの検討がされているか、給気元と排気先で臭気の確認をしているか	
受水槽・ポンプ室	天井	照明器具の設置位置は器具交換時に危険のない位置か。また、受水槽及び諸機器の保守に影響はないか	
受水槽・ポンプ室	天井	非常照明は設置されているか	
受水槽・ポンプ室	その他	ポンプ制御盤の上部を電線管以外の配管が横断していないか	
受水槽・ポンプ室	その他	直結増圧給水ポンプについて、屋外の場合、ボックスや配管の雨仕舞は考慮されているか	
受水槽・ポンプ室	その他	受水槽、給水ポンプのメンテナンス、取替スペースが確保されているか	
受水槽・ポンプ室	その他	給水ポンプの防音対策の要否が検討されているか	
受水槽・ポンプ室	その他	汚染防止のため受水槽室の上部トレンチの入り口が受水槽、ポンプ室からとなっていないか	
受水槽・ポンプ室	その他	受水槽、ポンプ室と消火栓ポンプ室が同じ室内となっていないか	
受水槽・ポンプ室	その他	受水槽室とポンプ室が別の場合、隔壁等に連絡用の人通口があるか	
受水槽・ポンプ室	その他	維持管理上の機器搬出入用の検討がされているか（吊フックの取付等）	
受水槽・ポンプ室	その他	受水槽室に汚水、雑排水管が設置されていないか	
受水槽・ポンプ室	その他	上部にトレンチピットがある場合、点検口への出入口用ハシゴを掛けるため配管や機器を避けて計画しているか	
受水槽・ポンプ室	その他	電極取付けボックスの設置位置は、電極のメンテナンスが可能な位置か、また、通路上を避けて計画しているか	
受水槽・ポンプ室	その他	品名、容量等図面を取付けているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
受水槽・ポンプ室	その他	設備機器と配管の防振対策はされているか	
受水槽・ポンプ室	その他	受水槽室の外部にオーバーフロー等の配管を露出していないか。困難な場合は通路を避けた位置で計画されているか	
受水槽・ポンプ室	その他	直結増圧ポンプ本体について、ポンプが収まっている筐体の開閉箇所はメンテナンス性を考慮されたものになっているか	
受水槽・ポンプ室	その他	直結増圧ポンプの基礎について、ポンプユニット前面から基礎の端部までは、基礎上に立ってメンテナンスを行うことを考慮し、600mm以上のスペースを確保しているか	
受水槽・ポンプ室	その他	直結増圧方式の逆流防止ユニットは、メンテナンス性を考慮し2組設置を標準としているか（なお、2組目の逆流防止器は異口径可とする）	
受水槽・ポンプ室	その他	直結増圧ポンプの配管について、更新や改修工事に向けて、可能であればポンプユニットの一次側、二次側に排泥用の分岐が取り付けられているか。また、分岐を設置する場合は水道局との協議が完了しているか	
受水槽・ポンプ室	その他	ポンプユニットは鍵付きの柵で囲いセキュリティ対策を講じた設えになっているか	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	出入口下に排水溝を設置しているか	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	電気室の扉の大きさは機械搬入ができる寸法（1,500mm程度以上）となっているか。また、借室への機器設置スペース・搬入経路等検討されているか	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	扉下枠は雨水対策として100～150mm程度立ち上げているか	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	防音・防振対策はされているか	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	電力会社トランス2次側と開閉器盤1次側ブースバー及び各開閉器（MCB）への接続違いはないか。また、トランスの設置位置側に住戸はないか	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	給気口、換気口の相互の設置位置はメンテナンス、安全、外観等の検討しているか（外壁につくものは全て立面図にプロットし、意匠設計者の確認を取ったか）	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	電気室内に電線管以外の配管が横断していないか。やむを得ず縦管等が通る場合には、区画されたシャフト内を通しているか	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	幹線系統図は掲示されているか	
電気室・ピット・駐輪場	開閉器室・東電借室	共用電力メーターについて、検針時、検定満了交換時に支障はない場所か	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	床下ピットに入るマンホールにタラップは付いているか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	下階に電気室、給水室、施設等がある場合、ピット内床は、塗膜防水となっているか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	トレンチピットが住戸に接する部分は断熱材が設置されているか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	床下点検口（500mm×550mm）、人通口（600φ）は、全ての構造区画に行けるようになっているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	床下ピット、電気室、受水槽・ポンプ室等上部配管トレンチピットへの点検用マンホールは共用部からとなっているか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	排水ポンプ毎にメンテナンス用のマンホールは設置されているか。また、ポンプの取替方法の検討がされているか（吊フックの取付等）	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	配管ピットの高さは更新や修繕で作業できるスペースを確保しているか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	共用排水横管の掃除口が10m間隔で設置されているか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	コンクリート内、スラブ下の中に埋設されている排水管はないか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	ピット内配管の可動点の支持金物はフリーでなく、ゴム巻きのうえ締め付けとなっているか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	使用している防振ゴムはJISK6386で規定されたグロブレンゴム（硬度50～55）となっているか	
電気室・ピット・駐輪場	トレンチピット・床下ピット	雨水貯留用排水ポンプは吐出量が大きくなることが多く、運転時の振動が躯体を伝搬し住宅まで到達することがあるため、防振対策の検討がされているか	
電気室・ピット・駐輪場	駐輪場	土間スラブに目地を入れているか	
電気室・ピット・駐輪場	駐輪場	駐輪場に隣接する壁等がガラス等の割れやすいものになっていないか	
電気室・ピット・駐輪場	駐輪場	駐輪止めステンレスパイプは設置しているか	
電気室・ピット・駐輪場	駐輪場	床下点検口の設置位置はラックと干渉していないか	
電気室・ピット・駐輪場	駐輪場	2段式の場合、照明器具の位置は検討されたか	
電気室・ピット・駐輪場	駐輪場	監視カメラの位置は適切か	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	玄関・多目的便所に手摺は設置しているか	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	折れ戸がある場合、指詰防止加工がされており、指詰防止の注意シールが折曲部の小口に貼っているか	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	集会室物入れは、テーブル・椅子の収納ができるスペースとなっているか	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	防犯ブザーは設置されているか	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	管理サービス事務所のカウンターと照明器具の取り合いは良いか	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	エアコンの排水ドレインは、排水溝へつながっており垂れ流しとなっていないか	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	身障者の便所がある場合、全ての衛生器具に手摺が設置してあるか	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	給湯設備の有無は管理部門と事前打ち合わせをしたか	
集会所・管理事務所	集会所・管理事務所	おむつ交換台がある場合、周辺に保育者の作業スペースを十分確保しているか	
集会所・管理事務所	外部周り	建物に沿うテラス、ポーチ等は基礎を一体としているか	
集会所・管理事務所	外部周り	ウッドデッキに段差がある場合、段差が分かるような工夫がなされているか（ウッドデッキの段差部は同色で見分けづらく、踏み外し・転倒に繋がる）	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
集会所・管理事務所	外部周り	連結送水口の位置は所轄消防と協議済みか	
集会所・管理事務所	外部周り	足洗い場のある場合、水栓の取付高さ、排水方法の検討しているか。また、水栓はキー付となっているか	
集会所・管理事務所	外部周り	いたずら等により容易に破損しない器具か	
集会所・管理事務所	外部周り	根巻き部分にコーキング処理はされているか	
集会所・管理事務所	外部周り	機械式駐車場用排水ポンプ盤の位置は良いか、また、音声警報停止ボタン付か	
集会所・管理事務所	外部周り	ハンドホールは鎖付きとなっているか	
集会所・管理事務所	外部周り	ハンドホール内のケーブルは適切な方法で整線されているか	
集会所・管理事務所	外部周り	ハンドホール内のケーブルに行先表示、ケーブルサイズ等の表示はされているか	
集会所・管理事務所	外部周り	量水器の取付け位置は検針・取替が可能な位置か検討しているか（水道局と協議済みか）	
集会所・管理事務所	外部周り	排水用取付け桝の位置は下水道局と協議済みか	
集会所・管理事務所	外部周り	足洗い場の排水蓋にはチェーンは付いているか	
集会所・管理事務所	外部周り	屋外共用メーター、散水栓及び止水栓等が外構仕上げレベルと合っているか	
集会所・管理事務所	外部周り	給水埋設管の上に構造物（駐輪場）等がない事を確認したか	
集会所・管理事務所	外部周り	給水埋設管の建物への引き込み位置は、テラス・ポーチの位置は避け維持管理の検討しているか	
LAN設備	LAN設備	HUBボックスの設置されるシャフトにガラリは設置されているか	
LAN設備	LAN設備	LAN設備設置室の防塵塗装及びガラリにフィルター設置の検討はされたか。各キャリア向け機器類設置スペースは確保されているか	
LAN設備	LAN設備	パッチパネルの位置は良いか	
LAN設備	LAN設備	HUBボックスの位置は点検用の足場スペースが確保されているか、防塵・防雨対策は検討されているか。また、保守性は考慮されているか	
LAN設備	LAN設備	HUB用コンセントの口数はHUB設置台数+作業用となっているか	
LAN設備	LAN設備	19インチラックに換気設備が設置されているか。拡張機器類の設置スペースは考慮されているか	
LAN設備	LAN設備	ケーブルの撚りほぐしは適切か（13mm以下）	
LAN設備	LAN設備	ケーブルの支持は適切な方法となっているか	
LAN設備	LAN設備	強電ケーブルとの離隔は確保されているか（並行する場合は130mm以上）	
LAN設備	LAN設備	ケーブルの曲げは許容範囲内か	
LAN設備	LAN設備	ケーブルの余長は取り過ぎていないか	
LAN設備	LAN設備	19インチラック内のケーブルの整線はされたか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
LAN設備	LAN設備	19インチラックの側面扉は容易に開かない形状になっているか	
LAN設備	LAN設備	保守用キーボックスの設置位置は良いか	
LAN設備	LAN設備	電灯幹線ケーブルとLANケーブルが接触しないように敷設されているか	
PC板	配管用開口部	開口位置、寸法、径、個数は施工図と整合が取れているか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	ペットの立入りエリアの区分は明確になっているか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	腰見切り等によるクロス張替え範囲削減の配慮はされているか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	建具にくぐり戸の設置は検討したか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	玄関廻りにリードフックの設置は検討したか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	エントランス（郵便受け周り）にリードフックの設置は検討したか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	ペットトイレ置場は検討したか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	コンセントの高さ・仕様は、ペットのいたずら防止等を検討したものか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	住戸内ペットトイレの換気設備を検討しているか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	EVにペットが乗っていることが分かるようになっているか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	EV内の脱臭の検討しているか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	ペット足洗い場の給湯設備の検討及び、排水管の口径の検討を十分に行ったか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	共用部のエアコン、全熱交換機、換気器具等について、脱臭の必要性は検討しているか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	浴室及びペット洗い場、またはペット足洗い場の排水器具にヘアーキャッチャー設備がついているか	
ペット共生住宅	ペット共生住宅	足洗い場、汚物流しに設置されている機器、配管の凍結対策は検討しているか	
KSI躯体分離	床	強電ケーブルと弱電ケーブルは接触していないか	
KSI躯体分離	床	床面に断熱材を張る場所に配線、配管を施工する場合、有効スペースはあるか	
KSI躯体分離	床	和室・発泡プラスチック系床下地の場合の施工方法を検討したか	
KSI躯体分離	床	PSから住戸内設置箇所までの電灯・テレビ・電話・LAN等の配管、配線ルートを確認したか	
KSI躯体分離	壁	床からの立上り部分、木軸壁の配管配線は、木軸に穴を開けなくても施工できるか	
KSI躯体分離	壁	断熱材部分にボックスを設置する場合、配管配線及びボックス設置ができる有効スペースがあるか	
KSI躯体分離	天井	PSから住宅用分電盤までの配線スペースは確保したか	
KSI躯体分離	天井	配管配線及びボックス設置ができる有効スペースがあるか	
ゴミ置き場	換気	ゴミ置き場の換気ルートを建築、機械で確認できているか。例えば、ドアガラリがあれば、壁面の給気口は不要等の確認ができているか	

場所	部位	チェック項目	チェック欄
ゴミ置き場	排水	ゴミ置き場に散水設備がある場合、目皿では詰まりが発生するため、バスケット柵等が計画されているか	
共通	機器本体	塩害仕様について、検討されているか (参考：①耐重塩害仕様：海までの距離が概ね300m以内の場所、②耐塩害仕様：海までの距離が概ね300mを越え1km以内の場所)	